

科目名	演習 3							年度	2025
英語科目名								学期	前期
学科・学年	放送芸術科 2年次	必/選	必	時間数	240	単位数	8	種別※	実習
担当教員			教員の実務経験			実務経験の職種			
【科目の目的】 ドラマや音楽番組の表現方法を学び、作品制作への取り組み方やクオリティを高くすることや、番組制作のプロセスを重要視して報告・連絡・相談を徹底することを目的とする。 後期の卒業制作への通過点として基礎力、思考力、行動力、技術力、人間力を磨くことを目的とする。									
【科目の概要】 各コースやテーマ別に、実習を通して映像制作の基礎を習得します。									
【到達目標】 各コースに分かれて、専門スキルを磨く。 ドラマ制作、音楽番組制作を通じて、社会に出た時の対応力、思慮など実践の場で専門スキルや感性を育む。 実習授業になるので、撮影に臨むうえでの心構え（遅刻・欠席・機材管理・スタッフワーク、報・連・相を徹底する）を学び、理解する。									
【授業の注意点】 キャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。 授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める。 ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	各分野の業務と担当業務を理解しチーム制作に貢献できた。		担当業務を理解しチーム制作に貢献できた。			各分野の業務並びに担当業務を理解出来ていない。			
到達目標 B									
到達目標 C	リーダーシップを持ちコミュニケーションをとる事が出来た		チームの一員としてコミュニケーションをとる事が出来た			コミュニケーションが不足している			
到達目標 D									
到達目標 E	大きな声で挨拶が出来る		挨拶が出来る			挨拶が出来ない			
【教科書】									

資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。

【参考資料】

【成績の評価方法・評価基準】

試験と課題を総合的に評価する。自己分析シート提出。積極的な授業参加度、授業態度によって評価する

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名		演習 3			年度	2025
英語表記					学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標=修得するスキル	評価方法	自己評価
1	企画書とプレゼンテーション		企画書作成			
2	リサーチ		リサーチ			
			ロケ地交渉			
3	台本作成①		台本の作成			
4	台本作成②		台本の作成			
5	プレゼンテーション		企画プレゼン			
6	ロケハン		ロケハン			
7	ロケ撮影①		ロケ撮影			
8	ロケ撮影②		ロケ撮影			
9	オフライン編集		オフライン編集			
10	編集①		編集			
11	編集②		編集			
12	MA①		MA			
			MA			

13	MA②				
14	フォーマット作業		フォーマット作業		
15	試写会		試写会		
評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他					
自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった					
備考 等	授業内容はコースによって異なる				